

2
下
聖徒伝 167

「聖なる者と 書き記されよ」

イザヤ書3～4章

イスラエルの残れる者

丁寧に読むけれど、
枝葉末節にとらわれて、全体を見失うことのないように。

文脈を追い、
聖書から確認できることを積み上げていくだけで、
聖書は十分理解できる。

主がそのように聖書を記してくださっている。

この学びの原則の再確認

アウトライン

0. イントロダクション

I. 主の日の裁きときよめ 3~4:1

II. 残れる者の希望と命 4:2~6

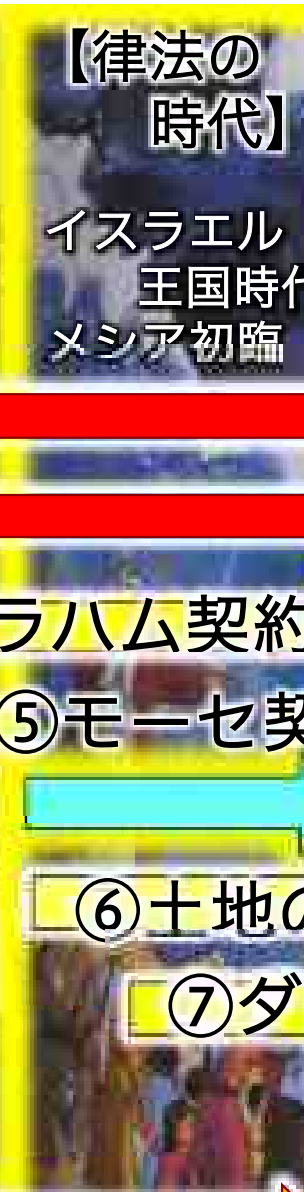
III. イスラエルの残れる者

IV. まとめと適用

残れる者の自覚をもって



オリーブ山の朝日



【無垢の時代】

天地創造

【良心の時代】

墮罪
~大洪水

【人類統治の時代】

バベルの塔事件

【約束の時代】

アブラハム
~ヤコブ

【律法の時代】

イスラエル
王国時代
メシア初臨

【恵みの時代】

聖霊降臨
世界宣教
メシア再臨

【御国の時代】

千年王国
大審判
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

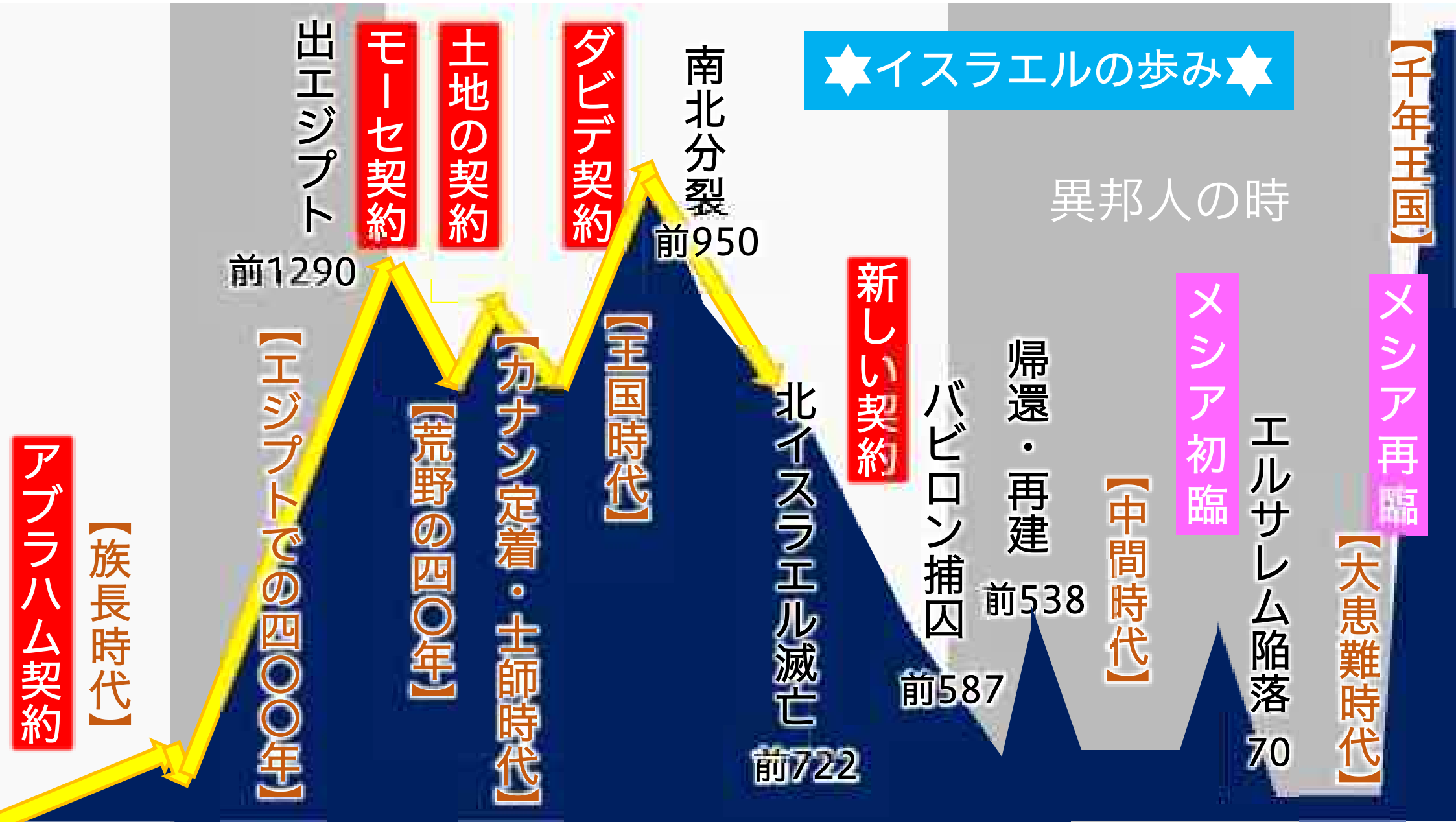
神の約束こそが
その時代の守り

過去

現在

未来

★イスラエルの歩み★



アブラハム契約

【族長時代】

【エジプトでの四〇〇年】

【荒野の四〇年】

【カナン定着・士師時代】

【王国時代】

北イスラエル滅亡
前722

バビロン捕囚
前587

帰還・再建
前538

【中間時代】

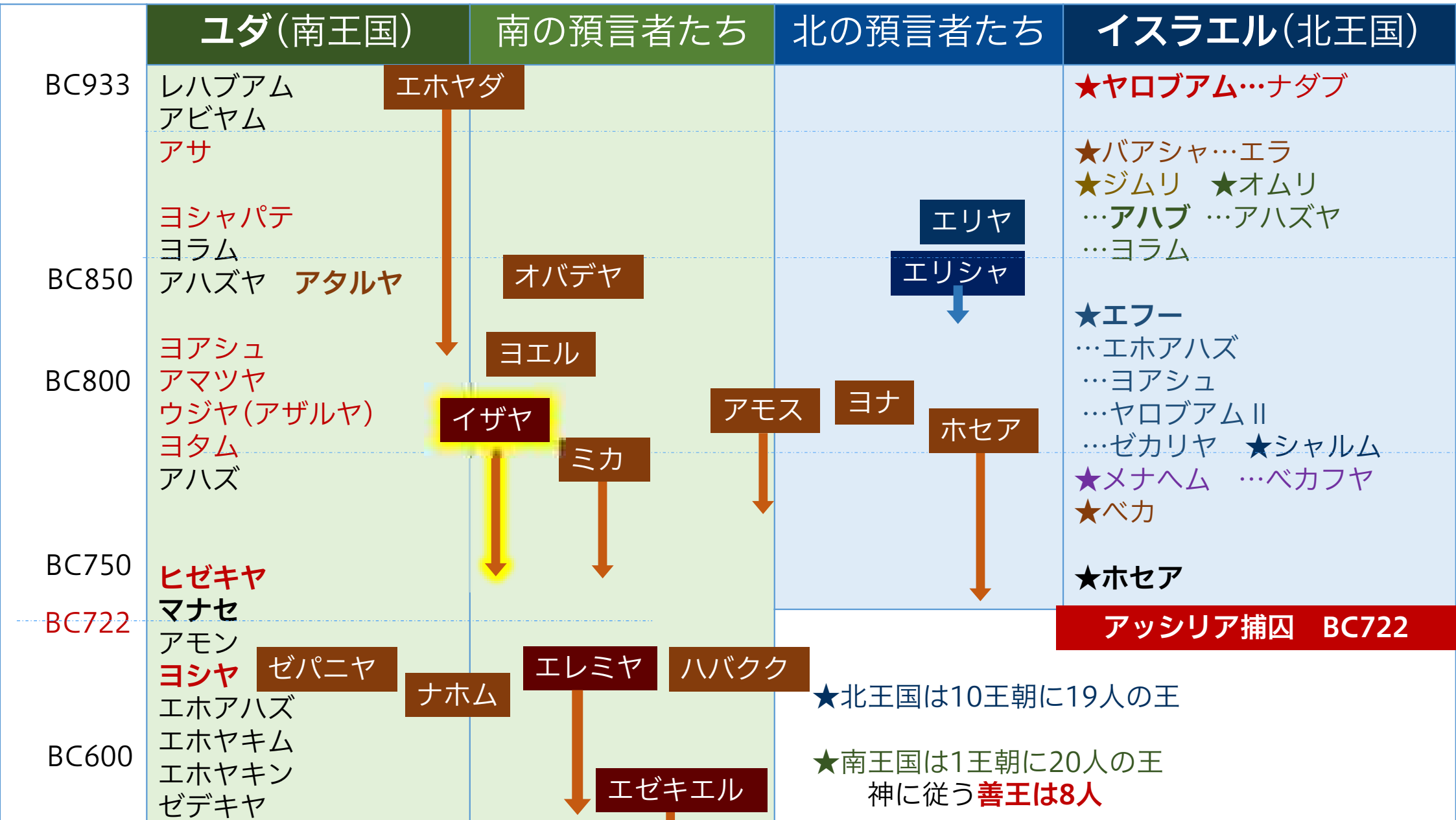
エルサレム陥落
70

メシア初臨

【大患難時代】

メシア再臨

【千年王国】



預言者イザヤとは？

■ イザヤ = “ヤハウエは救い”

■ エルサレム在住。貴族。アマツヤ王の甥。
結婚し、二人の子がいた。

■ 北王国に捕囚の滅亡が迫る時代の**南王国**で活躍。
ウジヤ→ヨタム→アハズ→ヒゼキヤの時代。
60年に及ぶ奉仕期間。ミカとは同世代。

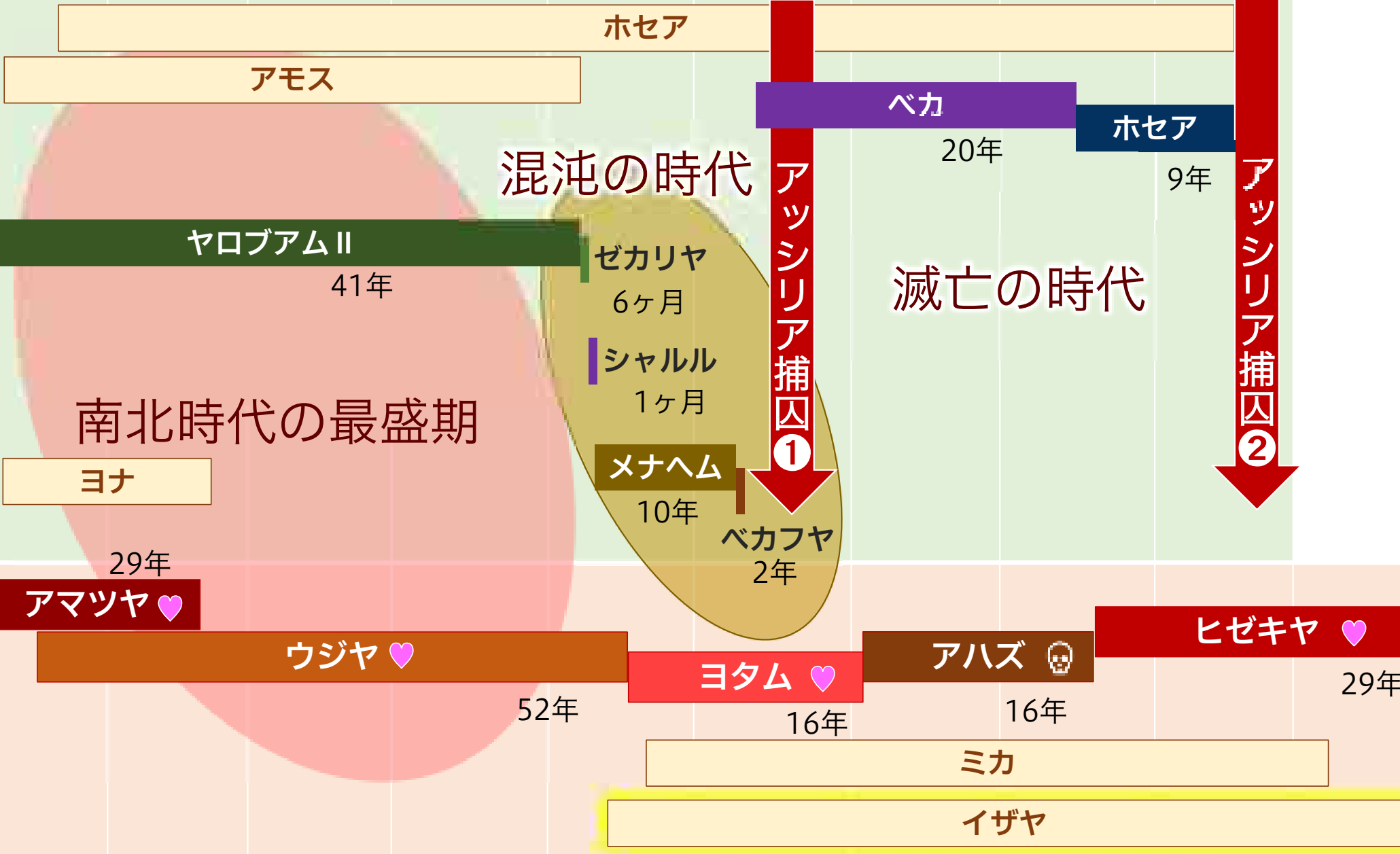
■ 間近に迫った裁きを告げ、悔い改めを迫った。
将来の捕囚の民をも意識し、帰還の希望を語り、
さらには、究極的な**メシア的王国**の建設を予告。



鍵を握るのは
“イスラエルの
残れる者”

北王国イスラエル

南王国ユダ



南北時代の最盛期

混沌の時代

滅亡の時代

【預言者視点で見る預言書は、こんな感じ？ 実際は？】



【預言者たちの告げたこと】



南北時代

➡ ① 直近の
苦難

メシア初臨

➡ ② 主の日
大患難時代

➡ ③ 回復

メシア再臨



Ⅰ. イスラエルへの裁きときよめ

イザヤ書3章～4章1節

エルサレム夕景

裁きの宣告 支えと頼み イザヤ3:1~3

まことに、見よ、万軍の【主】、主はエルサレムとユダから、支えと頼みになるものを除かれる*。すべての頼みのパン、すべての頼みの水、勇士と戦士、さばき人と預言者、占い師*と長老、五十人隊の長と身分の高い者、助言者と賢い細工人、巧みにまじないをかける者*を。

人々が依存していたもの。➡特に偶像。

■地上で貧しくされる者は幸い。

主だけを信頼することを教えられるから。



裁きの宣告 民の内乱 イザヤ3:4~5

「わたし*は、若い者たちを彼らの君主とし、気まぐれ者に彼らを治めさせる。

民はそれぞれ仲間同士で虐げ合い、若い者は年寄りに向かって尊大にふるまう。身分の低い者は高い者に向かって。」

*わたし = 神ご自身の宣告

■ 神に背き、見放された結果が、
権威、秩序の喪失、不遜、反逆、混乱。



裁きの宣告 首領の不在 イザヤ3:6~7

そのとき、人は父の家で自分の兄弟を捕らえてこう言う。『あなたは着る物を持っている。私たちの首領になってくれ。この乱れ果てた有様を、あなたの手で治めてくれ。』

その日、彼は声を張り上げて言う。『私は傷の手当てをする者にはなれない。家にはパンもなく、着る物もない。私を民の首領にはしないでくれ』と。

- 末期的症状の一つが、指導者の不在。
イスラエルの悩みの種であり続けてきた。



真実のリーダーは
主が立てられる者

終末の裁き 当然の報い イザヤ3:8~9

これは、エルサレムがつまずき、ユダが倒れたからであり、彼らの舌と行いが【主】に背き、主の栄光の現れに逆らった*からである。

彼らの顔つきがそれを表している。彼らは罪をソドムのようにあらわにし、隠そうとしなかった。彼らのたましいはわざわざいた。悪の報いを受けるのだから。

*律法と、主の栄光の臨在が常にあった。

■イスラエル同様、主を知る者に、不従順の言い訳の余地はないと心得よう。



裁きの宣告 報いの原則 イザヤ3:10~11

正しい人は幸いだ、と言え。その人たちは自分の行いの実を食べる。

悪しき者、悪人はわざわいだ。その手の報いは自分自身に降りかかる。

■ 各々の言行の報いを受けるのが裁きの原則。

「思い違いをしてはいけません。神は侮られるような方ではありません。人は種を蒔けば、刈り取りもすることになります。ガラ6:7」



裁きの宣告 混乱の末に イザヤ3:12~13

わが民は、幼子が虐げ、また女たちがこれを治める*。わが民よ。あなたの案内人たちは迷わす者。あなたの歩む道をかき乱す。」

【主】は論争するために立ち構え、もろもろの民をさばくために立たれる。

*権威の不在と混沌が極まった状態。

■主ご自身が、民に論争を挑まれる。

→主に圧倒されるだけの裁きの時が迫る。



裁きの宣告 裁きの座 イザヤ3:14~15

【主】は、ご自分の民の長老たちや君主たちと、さばきの座に入られる。「あなたがた*は、ぶどう畑*を荒れすたらせた。貧しい者からかすめた物が自分たちの家にある。なぜ、あなたがた*は、わが民を砕き、貧しい者の顔を白ですりつぶすのか。一万軍の【神】、主のことば。」

*神の民イスラエル。福音書にも頻出。

*真っ先に責任が問われるのは指導者たち。

→民を虐げ、搾取していた。



裁きの宣告 娘たち イザヤ3:16~17

【主】は言われた。「シオンの娘たちは高ぶり、首を伸ばし、色目を使って歩き、足に鈴を鳴らしながら小股で歩く。」

それで、主はシオンの娘たちの頭の頂をかさぶたでおおい*、【主】は彼女たちの額をむき出しにされる*。

*けがれと見なされる皮膚病のかさぶたも。

むきだし …頭を覆う髪が失われる？

→当時の女性には非常に恥ずべき状態。



裁きの宣告 虚飾 イザヤ3:18~23

その日、主はもろもろの飾りを除かれる。
足飾り、髪の大輪飾り、三日月形の飾り物、
耳輪、腕輪、ベール、頭飾り、くるぶしの
鎖、飾り帯、香の入れ物、お守り札、指輪、
鼻輪、礼服、外套、羽織物、金入れ、手鏡、
亜麻布の衣服、ターバン、かぶり物を。

- 人の外面を飾り立てていただけのあらゆるものは、主の前で完全に取り去られる。



裁きの宣告 喪失 イザヤ3:24~26

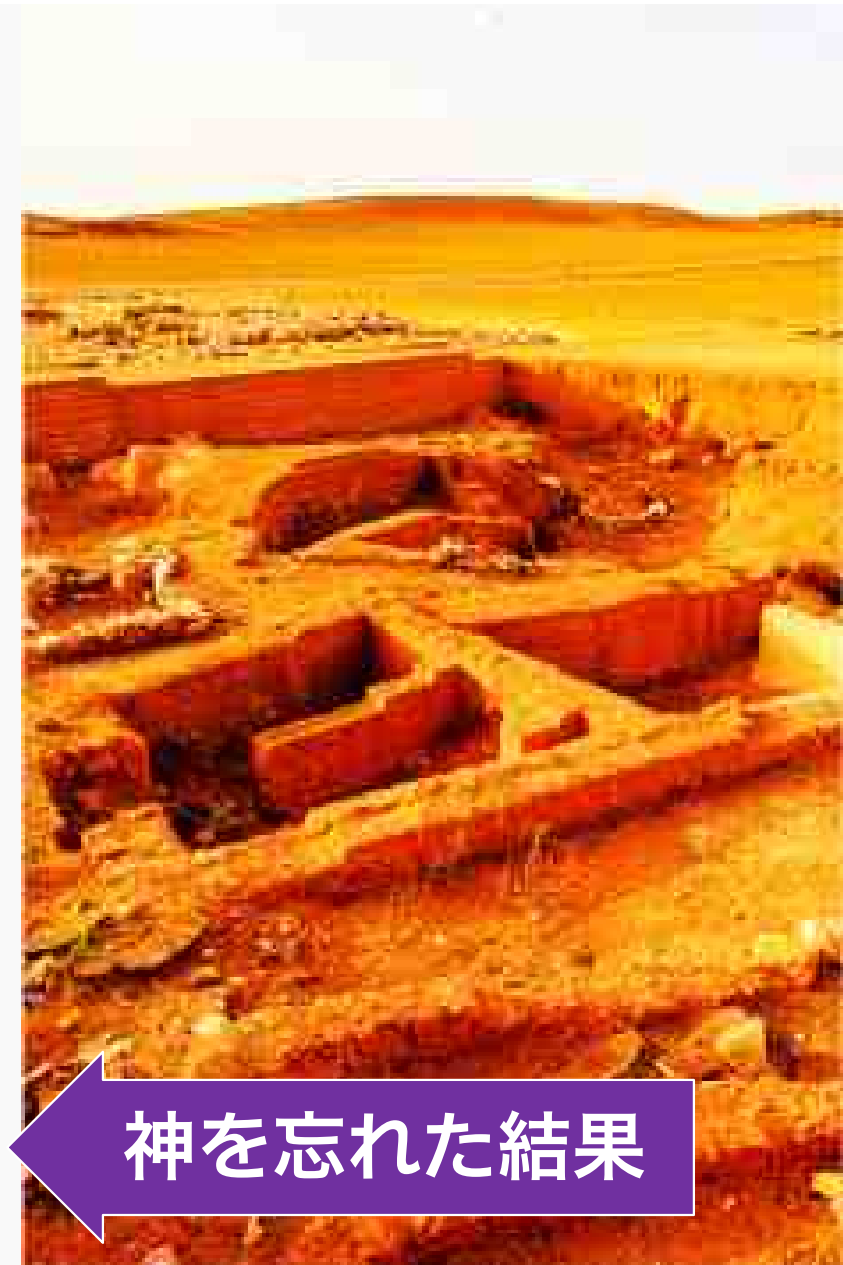
こうして、芳香は悪臭となり、帯は荒縄、
結い上げた髪ははげた頭、豪華な衣装は粗
布の腰巻き、その美しさは焼き印となる。

あなたの男たちは剣に、あなたの勇士たち
は戦いに倒れる。シオンの門*は悲しみ嘆
き、さびれ果てて地の上に座す。

*都の統治機関も完全に絶え果てる。

■ 装飾も美も、頼っていた男も勇士も、
借りていた権威もすべて失われる。

➔イスラエルが体験するのは**完全な喪失**。



神を忘れた結果

裁きの宣告 すぎる女たち イザヤ4:1

その日、七人の女が、一人の男にすがりついて言う。「私たちは自分のパンを食べ、自分の服を着ます。私たちがあなたの名で呼ばれるようにして、恥辱を取り去ってください。」

■ 主の日の裁きにおいて、イスラエルは、すべてを失い、すぎるものもない状態に。





II. 主の日の回復の希望

イザヤ書4章2～6章

神殿の丘・黄金門

千年王国 メシアの再臨 イザヤ4:2

その日、【主】の若枝*は麗しいものとなり、
栄光となる。地の果実*はイスラエルの逃れ
の者*にとって、誇りとなり、輝きとなる。

*メシア。再臨の主イエス。

*イスラエルの残れる信仰者・レムナント

■7年の大患難時代。大災厄と大迫害を経て、
イスラエルの2/3は滅び、残された1/3が、
民族的回心に至り、メシアが再臨される。



千年王国 書き記された者 イザヤ4:3

シオンに残された者、エルサレムに残った者*は、聖なる者と呼ばれるようになる。みなエルサレムに生きる者として書き記されている*。

*イスラエルの残れる信仰者たち

*主イエスの永遠の都エルサレムの住民に。

■最終的に、信者の名は、いのちの書に残され、子羊のいのちの書に書き記される。



千年王国 主の栄光 イザヤ4:4~5

主が、さばきの霊と焼き尽くす霊によって、シオンの娘たちの汚れを洗い落とし、エルサレムの血をその町の中から洗い流すとき、

【主】は、シオンの山のすべての場所とその会合の上に、**昼には雲を、夜には煙と燃え立つ火の輝き***を創造される。

- 主の日は、イスラエルの裁きときよめ。
- メシアの都となったエルサレムに、再び神の栄光が臨在される。

← 出エジプトの再現



千年王国 平安の都 イザヤ4:5~6

それはすべての栄光*の上に覆いとなり、その仮庵*は昼に暑さを避ける陰となり、嵐と雨から逃れる避け所、また隠れ家となる。

*都エルサレムの栄光は、主イエスご自身

*エルサレム神殿。メシアご自身がおられるなら、神殿そのものの価値は薄い。

■神の国のエルサレムは、すべてのイスラエルが憩い安らぐ永遠の都となる。





Ⅲ. イスラエルの残れる者

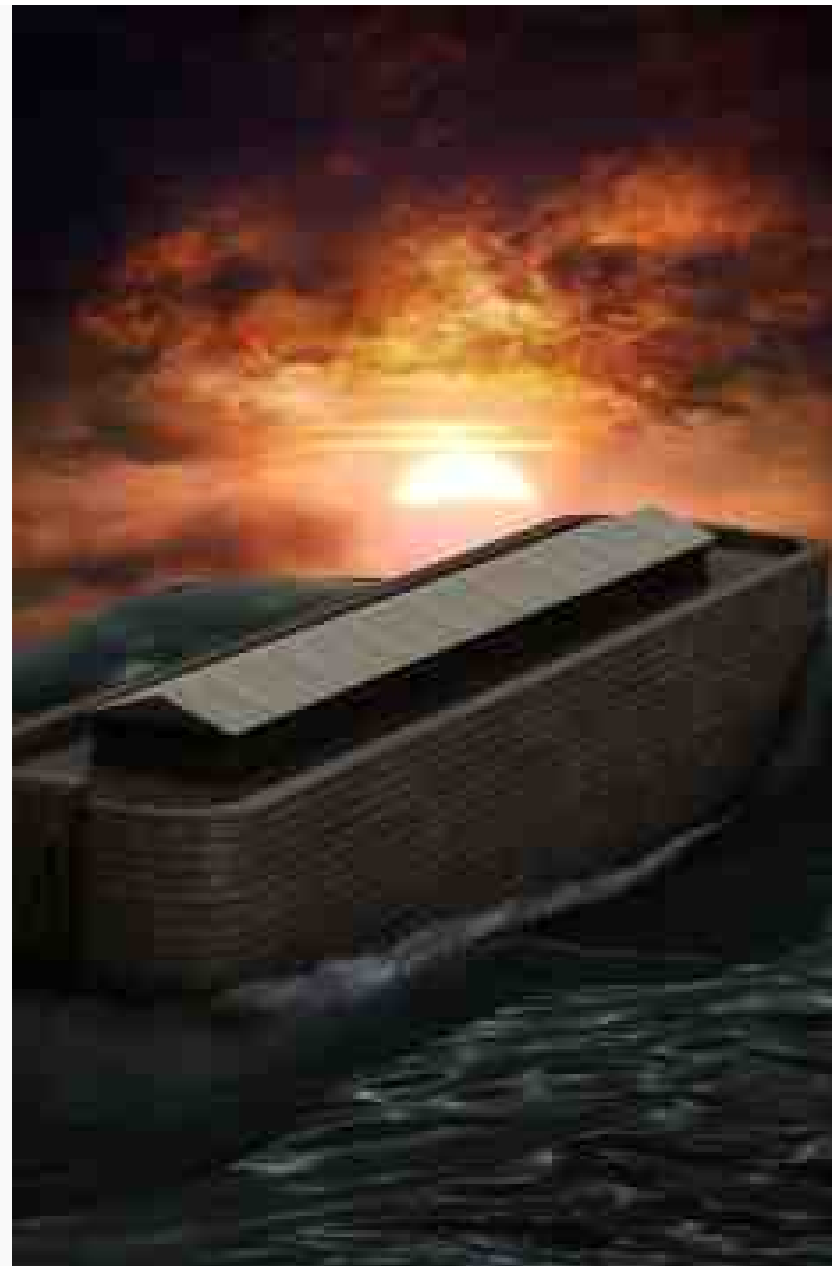
エルサレム旧市街の城壁

残れる者 大洪水の後 創世記 7:23

こうして、主は地の上の生けるものすべてを、人をはじめ、動物、這うもの、空の鳥に至るまで消し去られた。それらは地から消し去られ、ただノアと、彼とともに箱舟にいたものたちだけが**残った**。

■大洪水の裁きで地のおもては拭い去られ、箱舟に乗った8人だけが**残された**。

→**残った者**から人類は増え広がった。



残れる者 荒野の40年 民 14:38

しかし、あの地を偵察しに行った者のうち、**ヌンの子ヨシュア**と、**エフンネの子カレブ**は生き残った。

■ 荒野の40年で残った第一世代は、
ヨシュアとカレブの二人だけ。

* **ヨシュア** (イエシュア) = “主は救い”

■ ヨシュアは、メシアの予型。

カレブは、真の信仰者のひな形。



残れる者 デボラの歌 士師5:12~13

目覚めよ、目覚めよ、デボラ。目覚めよ、目覚めよ、歌声をあげよ。起きよ、バラク。捕虜を引いて行け、アビノアムの子よ。

そのとき、**生き残った者**は貴人のように下りて来た。**【主】の民**は私のところに勇士のように下りて来た。

- 女士師・女預言者デボラの勝利の歌
→ **残れる者**のイメージが歌われる。
- 混沌を極めた士師の時代にも、
イスラエルの残れる信仰者の存在が。



タボル山

残れる者 七千人 | 列王 19:18

しかし、わたしはイスラエルの中に七千人を残している。これらの者はみな、バアルに膝をかがめず、バアルに口づけしなかった者たちである。」

■ イザヤに示された7千人の**残れる者**。

→ 信者の共同体・預言者学校の開設へ

■ 背教と混沌の南北分裂の時代、**残れる者**の存在はますます際立っていった。



シナイ山

残れる者 帰還後 エズラ9:8

しかし今、しばらくの間、私たちの神、
【主】はそのあわれみによって、私たちに
逃れの者を残し、私たちのためにご自分の
聖なる所に**一本の杭***を与えてくださいま
した。これは、私たちの神が私たちの目を
明るくし、奴隷の身の私たちを少しでも生
き延びさせてくださるためでした。

*なんとか再建された神殿

■バビロン捕囚から**帰還した者**たちが、
神殿と城壁を再建した。

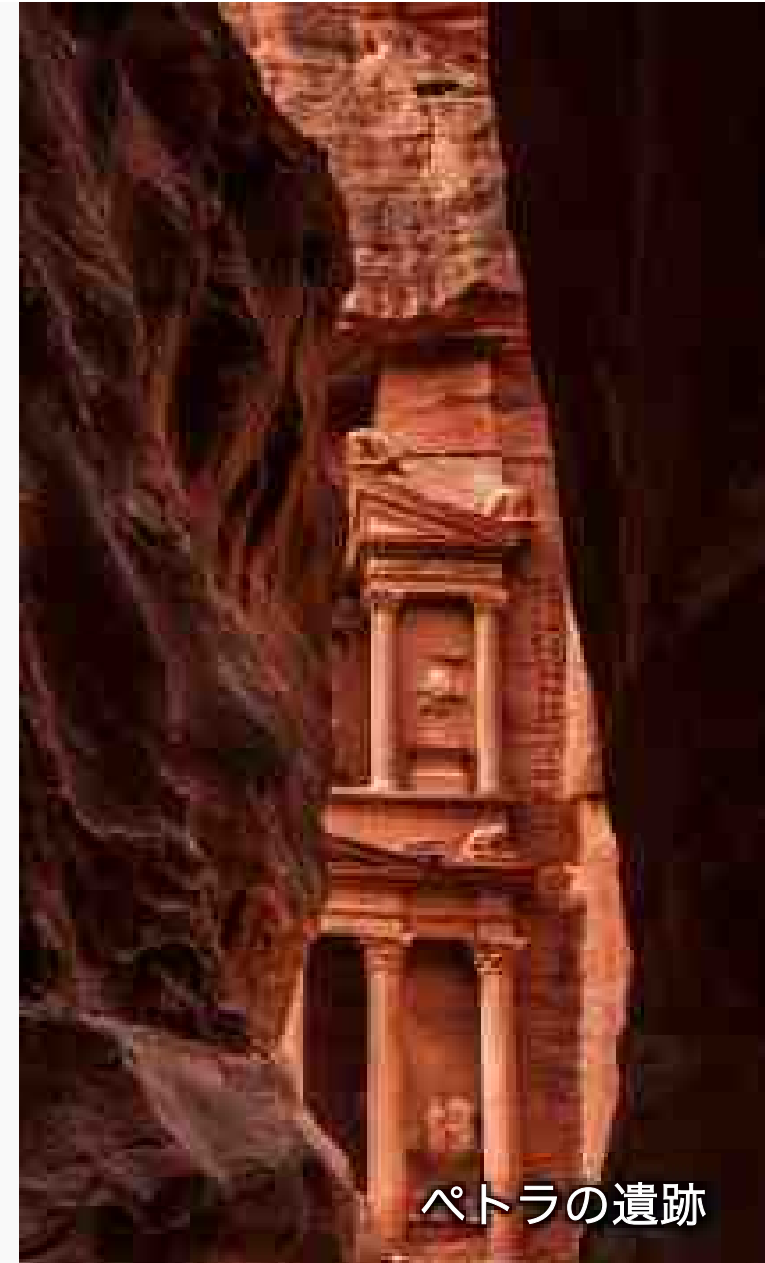


残れる者 囲いの羊のように ミカ2:12

ヤコブよ。わたしは、あなたを必ずみな集め、**イスラエルの残りの者**を必ず呼び集める。わたしは彼らを、**囲い***の中の羊のように、牧場の中の群れのように、一つに集める。こうして、人々のざわめきが起こる。

*ボツラ(ペトラ)

- 大患難時代後半、反キリストの大迫害から、イスラエルの生き残りが逃れるのが、ボツラ(ペトラ)



ペトラの遺跡

残れる者 主の日 イザヤ 10:21~22

残りの者、ヤコブの**残りの者**は、力ある神に立ち返る。たとえ、あなたの民イスラエルが海の砂のようであっても、その中の**残りの者**だけが帰って来る。壊滅は定められ、義があふれようとしている。

- 大患難時代の大迫害でイスラエルの2/3は滅び、**残された者**1/3が民族的回心に至る。
 - ➔ メシアがエルサレムへ集められる。
- ローマ9:27で引用。
 - ➔ 「残りの者だけが救われる。」



カイザリアの海岸

残れる者 千年王国 ゼパ3:12~13

わたしはあなたのただ中に、へりくだった、
貧しい民を**残す**。彼らは【主】の名に身を避
ける。イスラエルの**残りの者**は不正を行わ
ず、偽りを言わない。その口の中に欺きの舌
は見つからない。まことに彼らは草を食べて
伏す。彼らを脅かす者はいない。」

- 再臨のメシアによる王国の都エルサレムで、
イスラエルの残れる者は、神の平和を享受
する。



IV. まとめと適用

残れる者の自覚をもって



エルサレム夕景

イスラエルにおける「残れる者」

- **過去** …ヨシュア、カレブ…、士師、預言者たち…。
→イスラエルの残れる者、真の信仰者はいつも少数。
- **現在** …メシアニック・ジューは、ユダヤ人の1～2%に過ぎない。
→イスラエルで急増する一方、偽りの教えも蔓延。
- **未来** …大患難時代には、生き残った1/3が民族的回心に至る。
→メシアを信じたすべての残れる者が、神の国に入る。

イスラエルの残れる者を通して主の計画は進められていく!!

聖書における「残れる者」

- 大洪水で生き残ったのは、箱舟に入った8人だけ。
偶像の町ウルで、アブラハムは残れる信仰者だったのであろう。
- イスラエルに神の憐れみが注がれたのは、**残れる者**の信仰ゆえ。
- イエスをメシアと信じたのも、イスラエルの**残れる者**たち。
- **残れる者**たちの系譜に接ぎ木されて、私たちの今もある。

真のクリスチャンもまた、**残れる者**、**少数者**だと自覚しよう

終わりに向かう教会時代の「残れる者」

- パン種(偽りの教え)で膨らみ上がった教会に、悪魔すら棲みつく。世の終わりまで、**麦(信者)**と**毒麦(偽信者)**は混然としている。
- この時代の宣教は、畑の宝(イスラエル)や、海の真珠(異邦人)を探すようなもの。**残れる者**は、常に少数であり続ける。
- 見た目の数や規模に惑わされるな。**残れる者**は少数であり続ける。確約されたリバイバルは、大患難時代においてのみ。

結果は主に委ね、ひたすら聖書の真理を追い求めていこう!!

「残れる者」の自覚をもって、世の終わりの今を歩もう

- リベラル(北王国)から福音派(南王国)へ。…信仰の危機は共通。キリスト教国も、**残れる者**の割合は、さして変わらないのでは？
- 聖書フォーラム運動の力強い進展と、それでも**少数者**である現実。
※コンビニの数ほど、という時代が来るとしたら、大患難時代？
- **残れる信仰者**の孤独な戦いは、イザヤの時代から変わっていない。内住の聖霊に依り頼み、御言葉にすがり、一つのキリストの体にしっかりとつながっていこう。

すべての聖徒が兄弟姉妹。残れる信仰者と主が共におられる!!

てん とう
「天のお父さま。わたしは、あなたに背き、^{そむ} 罪を^{つみ}重ねてきました。
ひび おか つみ こくはく つみ
日々犯してしまう罪をも告白します。この罪をゆるしてください。

わたしは、^{かみ} 神のみ子^こイエス・キリストが、
^{つみ} ^{あがな} ^{じゅうじか} ^し

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

^{はか} ^{ほうむ}

②墓に葬られ、

^{みつかめ} ^{ふっかつ}

③三日目に復活した^{しん}こと、を信じます。

^よ 世にあって、^{わたし} 私たちは、^{のこ} ^{もの} 残れる者にすぎません。

しかし、^{しゅ} 主よ、あなたは^{めぐ} 恵みによって、^{わたし} ^{ささ} 私を支えてくださいます。

^{からだ} キリストの一つの体である、^{あい} 愛する^{きょうだい} 兄弟姉妹がいます。

^{とも} 共に^{しゅ} おられる^{しんらい} 主イエスに^{みたま} 信頼^{みち} します。御霊によって導いてください。

^{しゅ} 主イエス・キリストのみ名^な によって^{いの} 祈ります。 アーメン」